実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
小豆島町	池田地区（池田集落、蒲生集落、中山集落）	令和3年3月31日	令和4年12月26日

1　対象地区の現状

①地区内の耕地面積	136.7ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	79.1ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	32.1ha
ⅰ　うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	12.3ha
ⅱ　うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.4ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	8.1ha
（備考）	

2　対象地区の課題

・畑地かんがい用水整備がされている集落（池田）は営農条件が良いが、そうでない集落（蒲生）は水利用に労を要する。
・農道整備がされていないため軽トラック等の進入ができない農地が多々ある。
・後継者未定の農業者の農地の受け手の確保が必要である。
・農地が荒廃し、山林化も見られ、鳥獣被害も発生している。
・平地は住宅が多く、混住化も見られる。
・棚田は耕作条件が非常に悪く、集約化が難しい。

3　対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

池田集落では、中心経営体である認定農業者や認定新規就農者等が中心となり担っていく。
蒲生集落では、中心経営体である認定農業者や認定新規就農者等が中心となり担っていく。
中山集落では、集落内農業者が中心となり担っていく。

（参考） 中心経営体

属性	農業者（氏名・名称）	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農	A	キク	1.2 ha	キク	1.2 ha	池田集落
認農	B	アスパラガス、オリーブ	0.7 ha	アスパラガス、オリーブ	0.7 ha	池田集落
認農法	C	オリーブ、柑橘	21.9 ha	オリーブ、柑橘	23 ha	池田、蒲生集落
認農	D	キク、スモモ	0.9 ha	スモモ	0.7 ha	池田集落
認農	E	オリーブ	0.5 ha	オリーブ	0.8 ha	蒲生集落
認農法	F	オリーブ	8.4 ha	オリーブ	8.7 ha	池田、蒲生集落
認農	G	アスパラガス	0.4 ha	アスパラガス	0.4 ha	池田、蒲生集落
認農法	H	オリーブ	0.2 ha	オリーブ	0.2 ha	池田、蒲生集落
認農	I	オリーブ、柑橘	1 ha	オリーブ、柑橘	1 ha	池田集落
認農法	J	キク	2.4 ha	キク	2.7 ha	池田集落
認農	K	柑橘、果樹	0.4 ha	柑橘、果樹	0.5 ha	池田集落
認農	L	柑橘、果樹	0.6 ha	柑橘、果樹	0.7 ha	池田集落
認農法	M	オリーブ、アスパラガス	0.7 ha	オリーブ、アスパラガス、レモン	1.5 ha	池田集落
認農	N	オリーブ	0.1 ha	オリーブ	0.2 ha	蒲生集落
認農法	O	オリーブ	0.5 ha	オリーブ	0.5 ha	池田集落
認農	P	オリーブ	0.1 ha	オリーブ	0.1 ha	池田集落
認農法	Q	オリーブ	0.4 ha	オリーブ	1 ha	池田集落
認農	R	オリーブ	0.5 ha	オリーブ	0.5 ha	池田、蒲生集落
認農法	S	オリーブ、アスパラガス	1.4 ha	オリーブ、アスパラガス	2.6 ha	池田集落
認就	T	キク	0.2 ha	キク	0.4 ha	池田集落
認就	U	オリーブ	1.3 ha	オリーブ	2.2 ha	池田集落
認就	V	オリーブ	0.5 ha	オリーブ	1.8 ha	池田、蒲生集落
認就	W	オリーブ	0.5 ha	オリーブ	0.5 ha	池田、蒲生集落
認就	X		0 ha	オリーブ	0.1 ha	池田集落
認就	Y	野菜	0 ha	野菜	0.1 ha	池田集落
認就	Z	ニンニク	0.1 ha	ニンニク、オリーブ	0.3 ha	池田集落
認就	AA	花き、養蜂	0.1 ha	花き、養蜂	0.1 ha	池田集落
到達	AB	キク	1.2 ha	キク	1.2 ha	池田集落
到達	AC	水稲、アスパラガス、野菜	1 ha	水稲、アスパラガス、野菜	1 ha	池田、中山集落
到達	AD		0 ha	オリーブ	0.3 ha	池田、蒲生集落
到達	AE	キク、アスパラガス	0.7 ha	キク、アスパラガス	0.8 ha	池田集落
到達	AF	花き、野菜、オリーブ	0.4 ha	花き、野菜、オリーブ	0.4 ha	池田集落
	AG	オリーブ	0.6 ha	オリーブ	0.6 ha	池田集落
	AH	ブドウ	0.8 ha	ブドウ	1 ha	池田集落
	AI	オリーブ	1 ha	オリーブ	1 ha	蒲生集落
計	35人		50.7 ha		58.8 ha	